RockyLinux8 と Windows10間でiscsi接続設定

PCのHDD容量が不足してきたため、ファイルサーバーのHDDの一部領域を、PCに割り当てたく
iscsiで設定してみた

個人で利用している環境では、PCにドメイン名を設定せずに利用している事が多い。
今回の設定では、ドメイン名が必要となるので、マイドメインを取得していない場合は、
テスト用のドメインを利用して欲しい。
今回は、example.jp を利用して情報を残しておく

２つの記事に分けて執筆しているので、必要に応じて参考にして頂きたい
・ RockyLinux8 と Windows10間でiscsi接続設定 (iscsi ターゲットサーバー設定) *** この記事 ***
・ RockyLinux8 と Windows10間でiscsi接続設定 (iscsiイニシエーター設定)

(1) iscsi設定を行う為の事前情報

iscsiの設定を行うに辺り、iSCSI ターゲット名/イニシエーター名を事前に決めておく。
命名規則があるので、フォーマットに倣って決定する
フォーマットは [iqn.年-月.ドメイン名の逆:任意の名前]

【環境】
・サーバー (iscsiターゲットサーバー)
RockyLinux8.9
Hostname : server.example.jp
IPAddress: 192.168.1.84
iscsiで利用する名前： iqn.2023-12.jp.example:server

・ クライアント (iscsiイニシエーター)
Windwos10Pro
Hostname : client.example.jp
IPAddress: 192.168.1.85
iscsiで利用する名前： iqn.2023-12.jp.example:client

(2) サーバー設定

(2-1) サーバー側にiscsi管理ソフトを導入

```
# dnf -y install targetcli
# systemctl enable target
```

(2-2) ディスクイメージ場所の選定

Windows10で利用する(割り当てる) Disk領域の場所
mkdir /iscsidisks

(2-3) iscsi管理ソフトで設定

```
# targetcli
```

Warning: Could not load preferences file /root/.targetcli/prefs.bin.
targetcli shell version 2.1.53
Copyright 2011-2013 by Datera, Inc and others.
For help on commands, type 'help'.
/>

対話モードなるので、コマンドを実行していく。
設定中はプロンプトが "> になっている事に留意して欲しい。
コマンドはシェルに似ている

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07

(2-3-1) Windows10で利用するDiskイメージの作成

disk01と名前で、作成場所、ファイル名は、/iscsidisks/clientdisk01.img
とりあえず容量を10GBとした。
以下、絶対パスで項目を移動(感覚的に分かりやすいかも)
> **cd backstores/fileio**
/backstores/fileio> **create disk01 /iscsidisks/clientdisk01.img 10G**

Created fileio disk01 with size 10737418240

(2-3-2) iscsiターゲットの作成

/backstores/fileio> **cd /iscsi**

(1)で命名した名前で作成する
/iscsi> **create iqn.2023-12.jp.example:server**

Created target iqn.2023-12.jp.example:server.
Created TPG 1.
Global pref autoadddefaultportal=true
Created default portal listening on all IPs (0.0.0.0), port 3260.

(2-3-3) LUNを割り当て

/iscsi> **cd /iscsi/iqn.2023-12.jp.example:server/tpg1/luns**

(2-3-1)で作成したディスクイメージ "disk01" にLUNを割り当てる
明示的にLUN番号を指定できるが、省略すると空き番号を自動割り当てされる。

/iscsi/iqn.20...ver/tpg1/luns> **create /backstores/fileio/disk01**

Created LUN 0.

→ 0番が割り当てられた

(2-3-4) AccessControL (ACL) の設定

disk01に接続可能なクライアント(Windows10)を登録する
※ この設定(接続クライアントの制限)や、(2-3-5)で設定するID/PASSも不要な場合は、
　別設定(制限しない=全て接続する)を行えば、「来るもの拒まず」状態になる

/iscsi/iqn.20...xample:server> **cd /iscsi/iqn.2023-12.jp.example:server/tpg1/acls**
/iscsi/iqn.20...ver/tpg1/acls> **create iqn.2023-12.jp.example:client**

Created Node ACL for iqn.2023-12.jp.example:client
Created mapped LUN 0.

(2-3-5) クライアントがサーバーに接続する際のID/Passを設定

/iscsi/iqn.20...ver/tpg1/acls> **cd /iscsi/iqn.2023-12.jp.example:server/tpg1/acls/iiqn.2023-12.jp.example:client**
/iscsi/iqn.20...xample:client> **set auth userid=iscsiuser001 password=123456789012**

Parameter userid is now 'iscsiuser001'.
Parameter password is now '123456789012'.

※ PASS(シークレット)の**文字数は12～16文字**で設定する必要がある(CHAPの仕様)

(2-3-6) ID/PASS認証を行うように設定

(2-3-5)にて、ID/PASSを登録したが、ID/PASSを使っての認証をするかしないかの設定が必要となる。

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html

また、この設定はターゲットポータルグループ (TPG) 毎の設定となる。
現在、グループ名"tpg1" が作成されているので、「tpg1グループはID/PASS認証を行う」設定となる。

/iscsi/iqn.20...xample:client> **cd /iscsi/iqn.2023-12.jp.example:server/tpg1**
/iscsi/iqn.20...e:server/tpg1> **set attribute authentication=1**

Parameter authentication is now '1'.

※ ここで、"get attribute"と打てば、その他の設定項目も表示される。

(2-3-7) 設定の完了と確認

"ls /" にて設定の簡単な設定確認が出来る。
しかし、ID/PASSなどはこの画面には出て来ないので、確認コマンドはあるが、生ファイルを見たほうが早い
設定ファイル /etc/target/saveconfig.json

/iscsi/iqn.20...xample:client> **ls /**

```
o- / ..... [...]
  o- backstores ..... [...]
  | o- block ..... [Storage Objects: 0]
  | o- fileio ..... [Storage Objects: 1]
  | | o- disk01 ..... [/iscsidisks/clientdisk01.img (10.0GiB) write-back activated]
  | | o- alua ..... [ALUA Groups: 1]
  | | o- defaulttgptgp ..... [ALUA state: Active/optimized]
  | o- pscsi ..... [Storage Objects: 0]
  | o- ramdisk ..... [Storage Objects: 0]
  o- iscsi ..... [Targets: 1]
  | o- iqn.2023-12.jp.example:server ..... [TPGs: 1]
  | o- tpg1 ..... [no-gen-acls,auth per-acl]
  | o- acls ..... [ACLs: 1]
  | | o- iqn.2023-12.jp.example:client ..... [Mapped LUNs: 1]
  | | o- mappedlun0 ..... [lun0 fileio/disk01 (rw)]
  | o- luns ..... [LUNs: 1]
  | | o- lun0 ..... [fileio/disk01 (/iscsidisks/clientdisk01.img) (defaulttgptgp)]
  | o- portals ..... [Portals: 1]
  | o- 0.0.0.0:3260 ..... [OK]
  o- loopback ..... [Targets: 0]
```

/iscsi/iqn.20...xample:client> **exit**

```
Global pref autosaveonexit=true
Configuration saved to /etc/target/saveconfig.json
```

(2-4) iscsiサーバーサービスを起動する

s**ystemctl start target**

TCP 3260でListen状態となっている事が確認できる
ss -ant | grep 3260

```
LISTEN 0 256 0.0.0.0:3260 0.0.0.0:*
```

以上で、ターゲットサーバー側の設定は完了

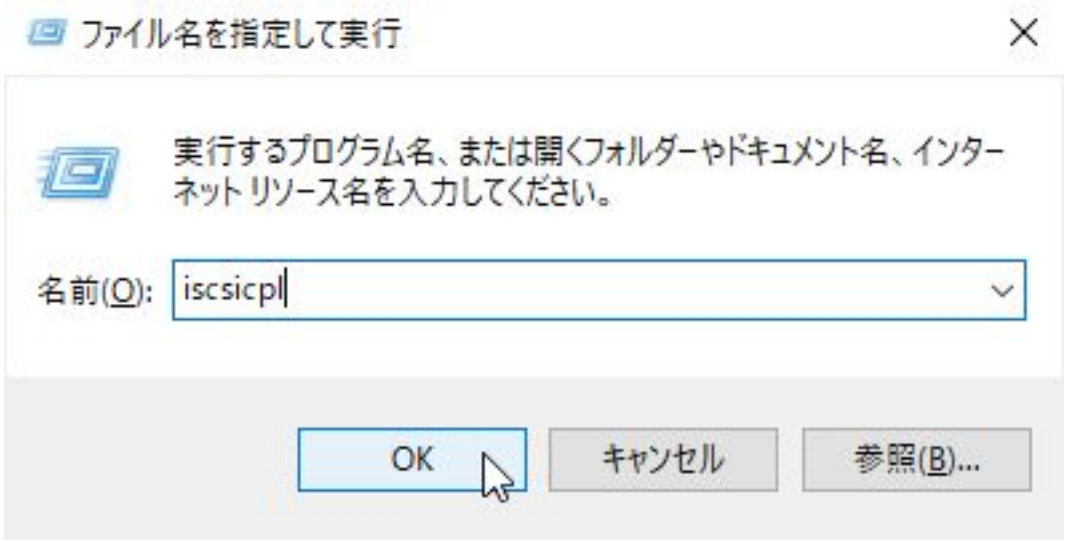
(3) クライアントの設定

(3-1) iscsiイニシエータ プログラムの起動

説明を簡略化する為、ショートカットキーで執筆している。

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html

・iSCSI イニシエーター
[Windows]キー + R で、「ファイル名を指定して実行」を開く。
「iscsicpl」と入力し、OKをクリック



(3-2) (初めて起動すると)以下の画面が表示されるので「はい」を選択

以下の画面が出なかった場合は、サービスが起動しているか確認すること。

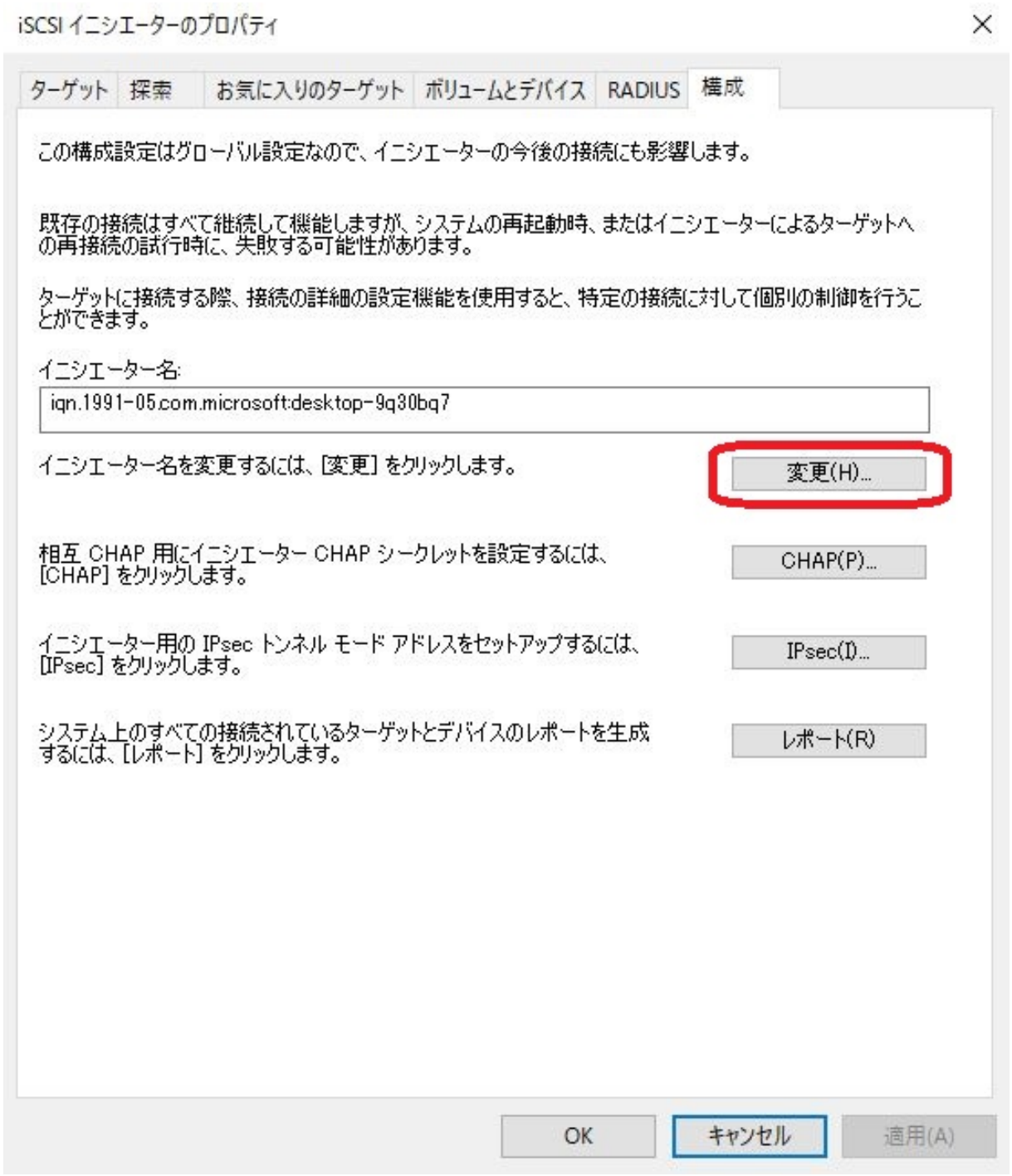
・サービス
{Windows}キー + R で、[ファイル名を指定して実行]を開く。
「SERVICES.MSC」と入力し、OKをクリック
サービス名：Microsoft iSCSI Initiator Service が[実行中] で[自動]となっている事



(3-3) イニシエーター名の設定

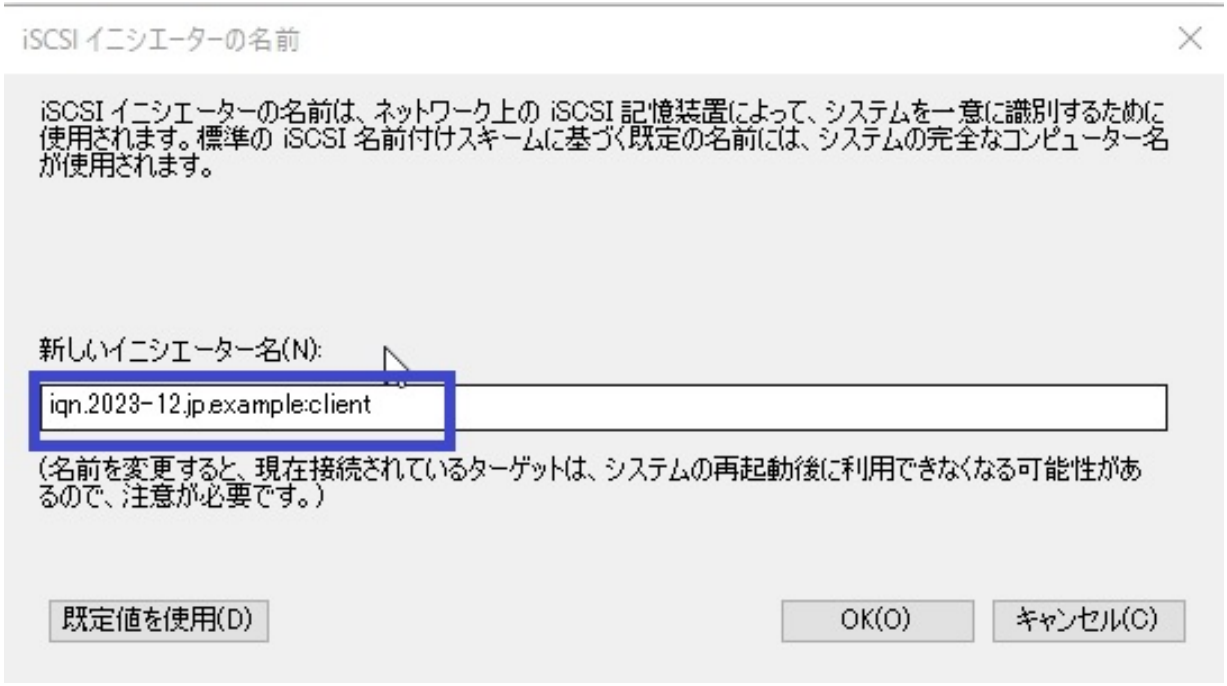
① iSCSI イニシエーター画面が表示。構成タブを選択
② [変更]ボタン押下

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html



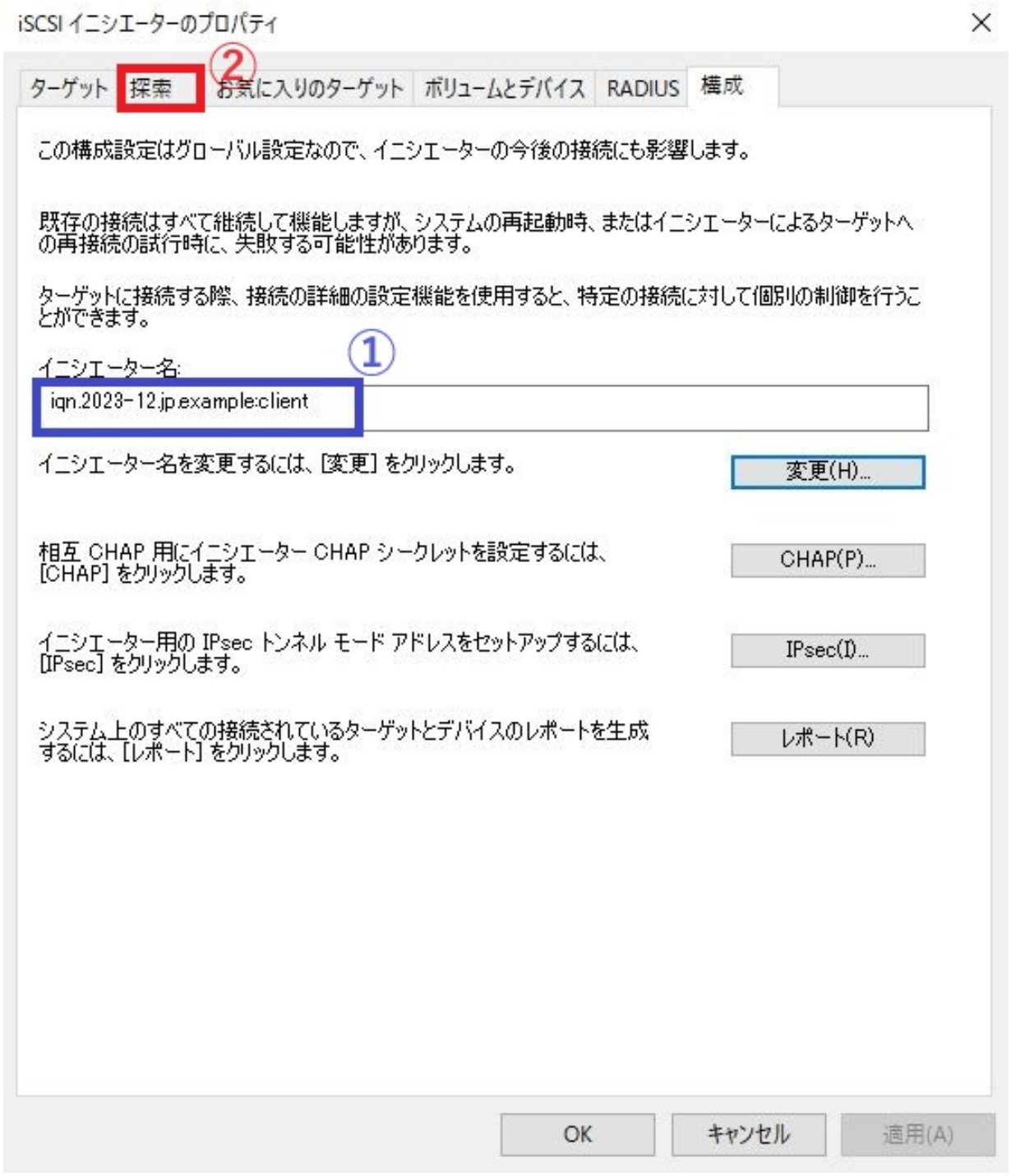
③ 予め決めておいたクライアントのイニシエータ名 「iqn.2023-12.jp.example:client」入力後、[OK]ボタン押下

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html



④ イニシエータ名が変更された事を確認し、[探索]タブを選択

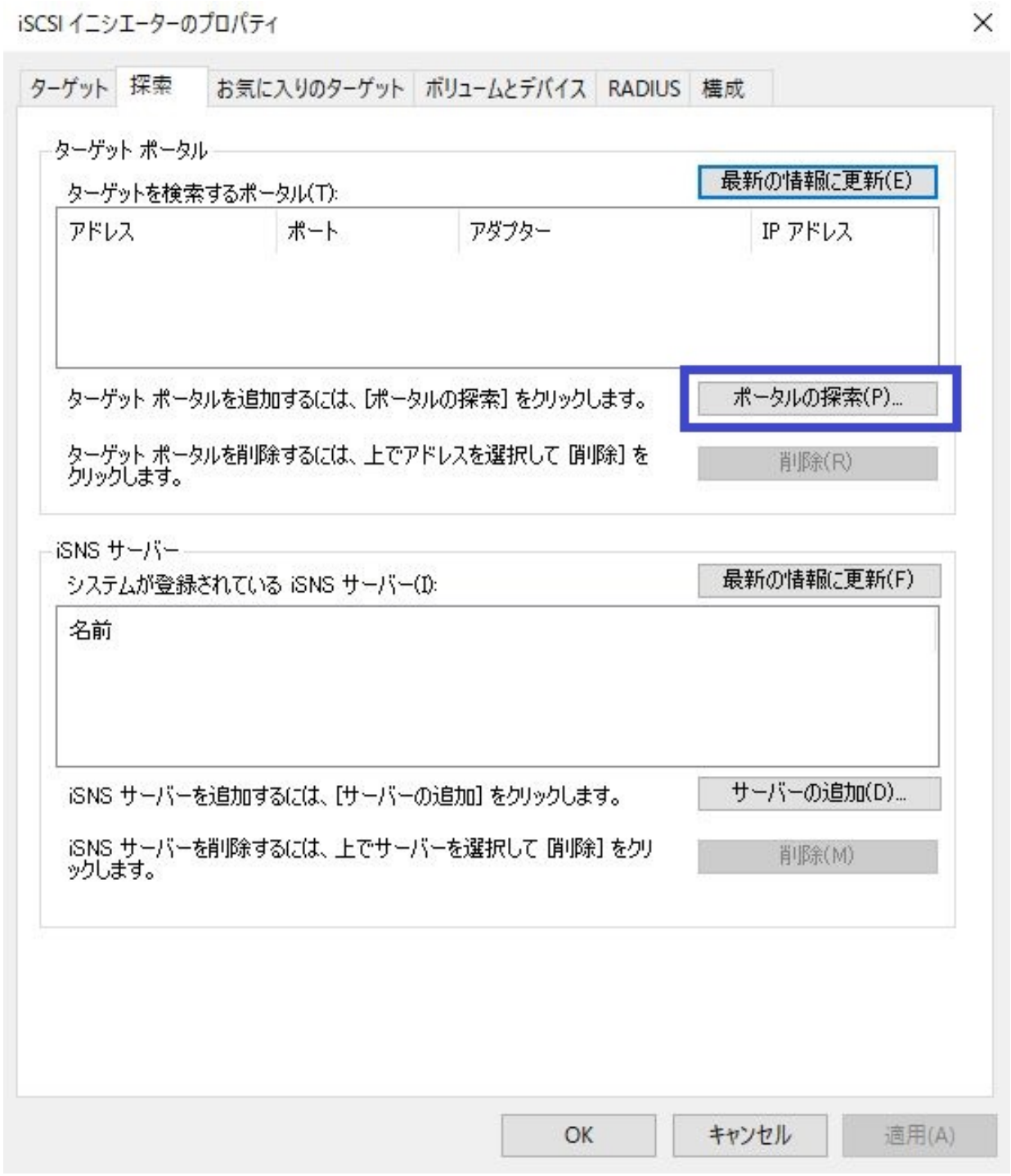
© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html



(3-4) ターゲットポータルの設定

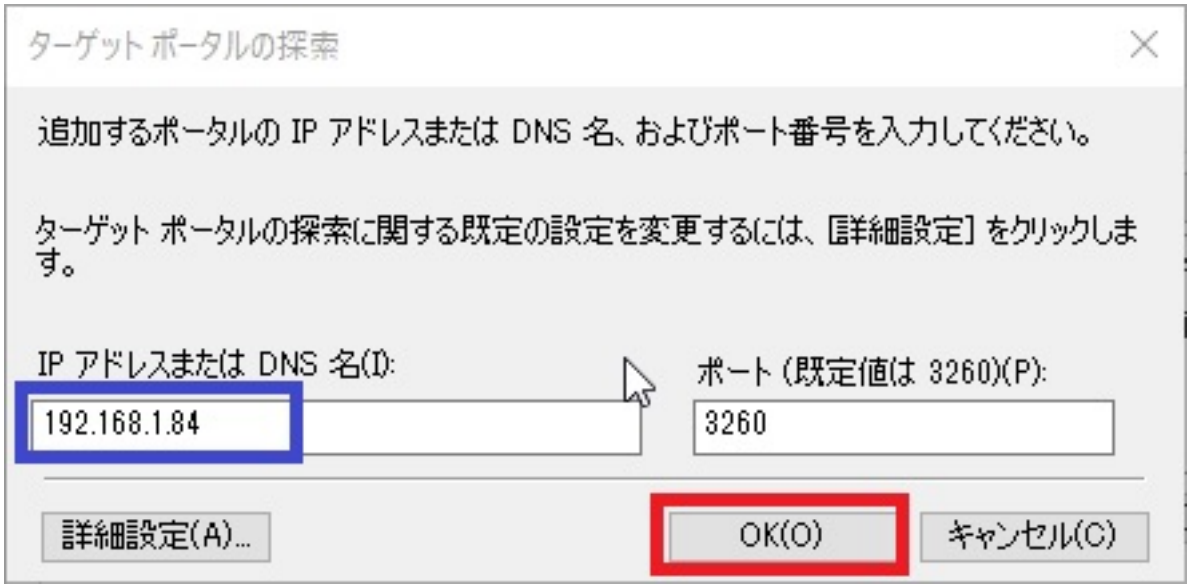
① [ポータルの探索]をクリックする

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html



② ターゲットサーバーのIPアドレスを入力後、[OK]をクリック
※ ここでは、詳細設定は行わない

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html



③ ターゲットを検索するポータルにエントリされた事を確認し、[ターゲット]タブを選択

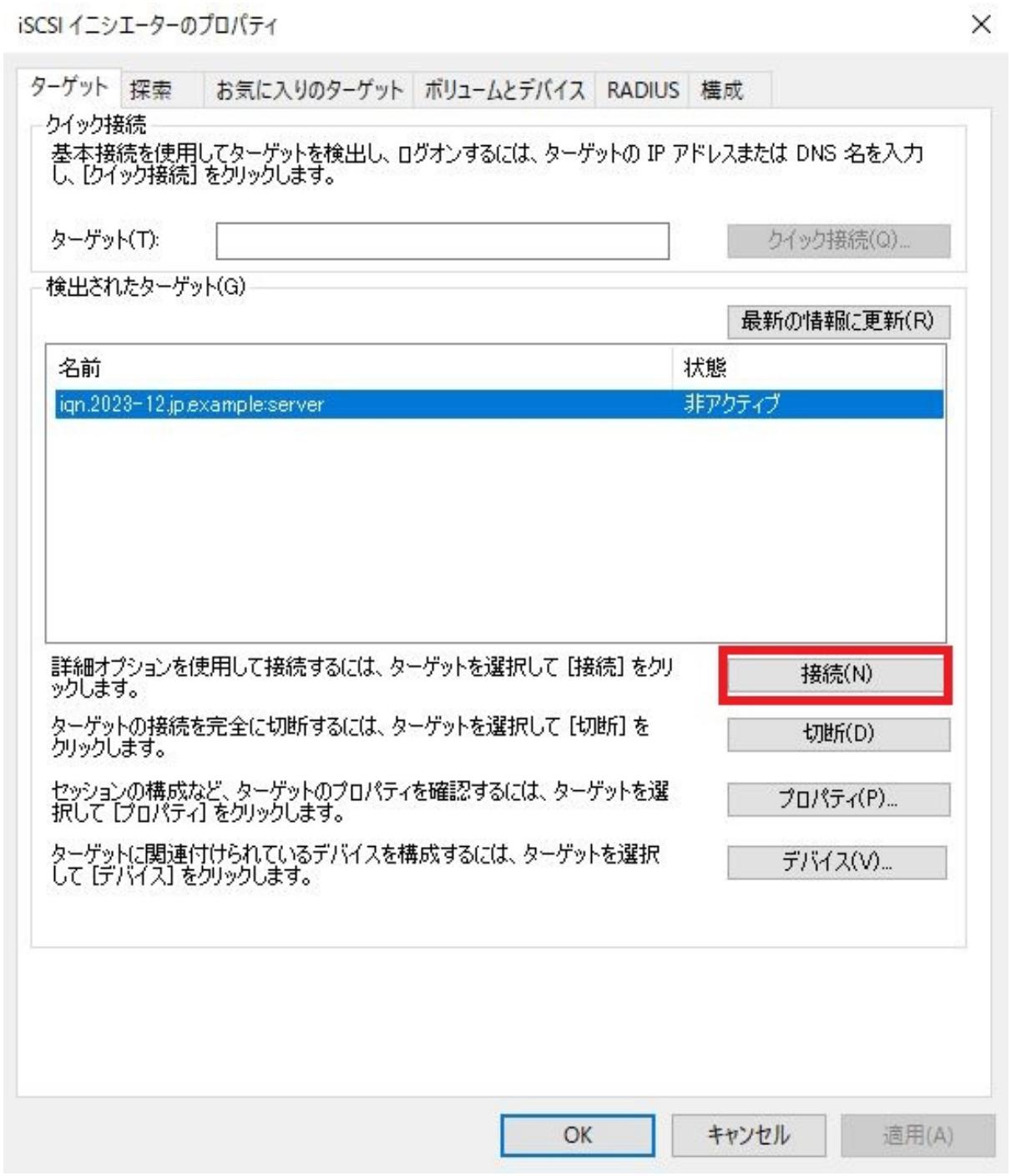
© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html



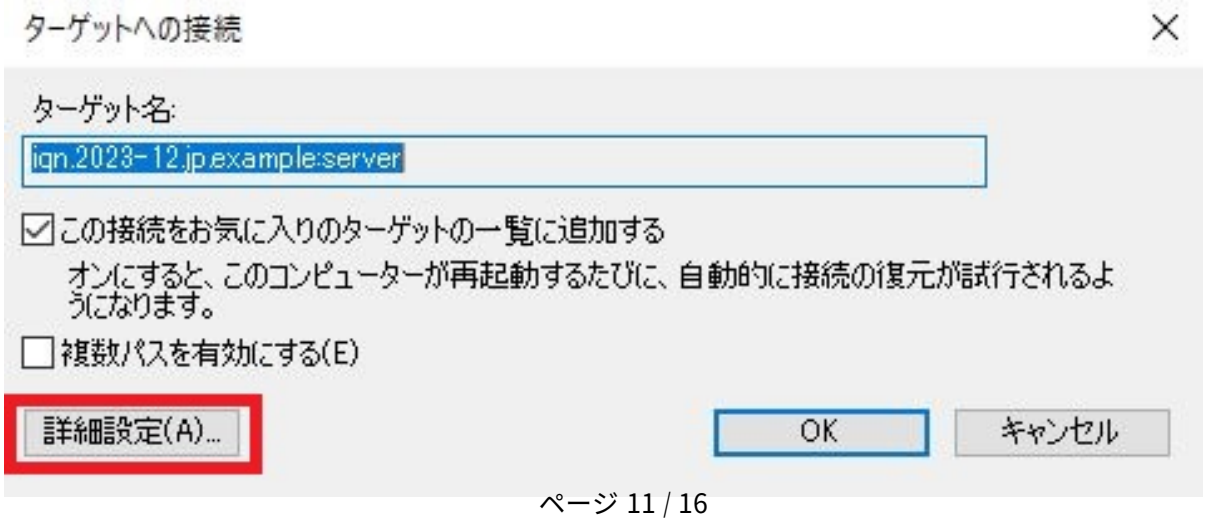
(3-5) ターゲットへの接続設定

① (3-4)の設定が完了すれば、[検出されたターゲット]の欄にターゲット名が表示されている
状態は[非アクティブ]
ターゲット名を選択された状態にし、[接続]をクリックする

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html

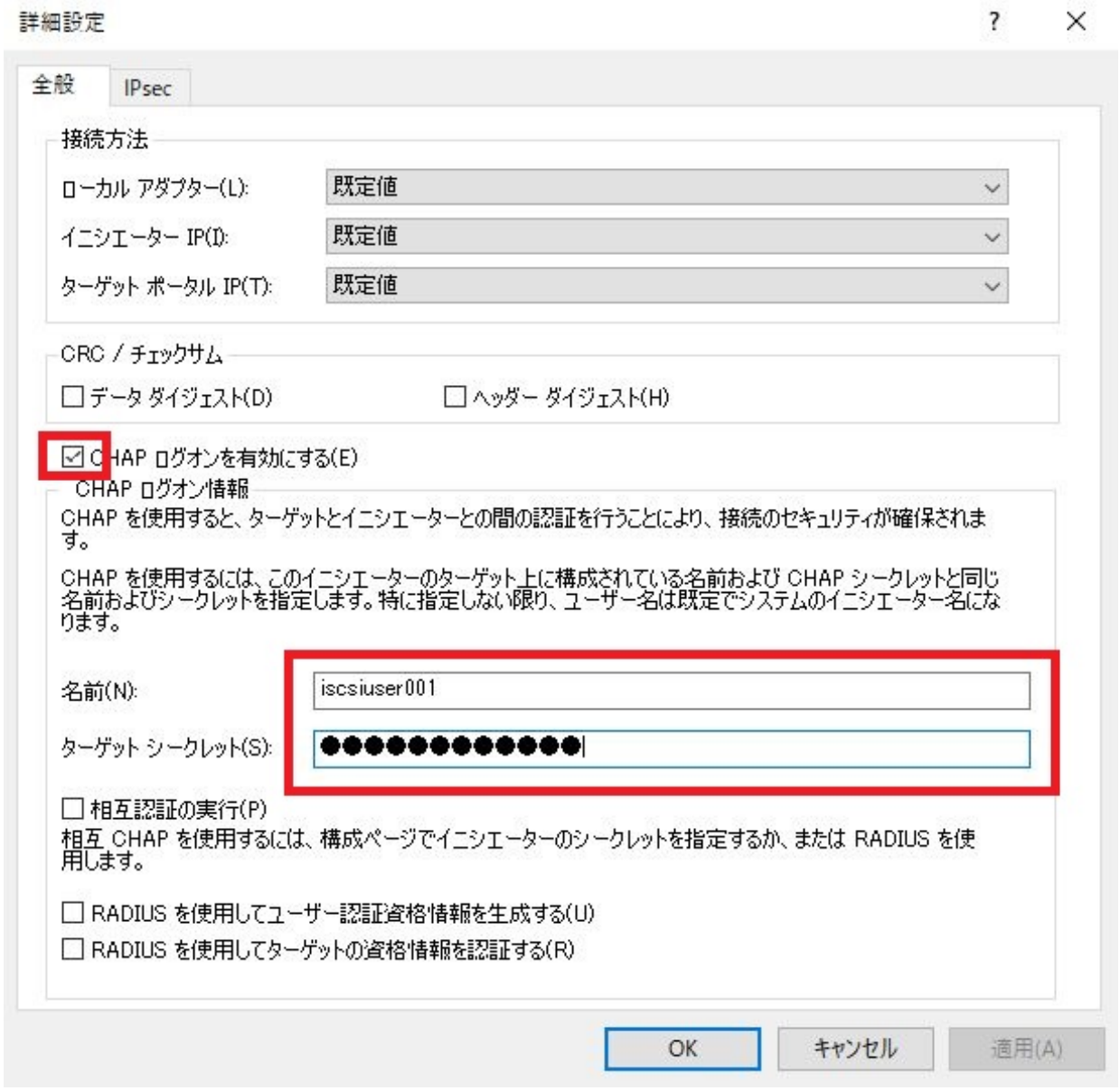


② [詳細設定]をクリックする

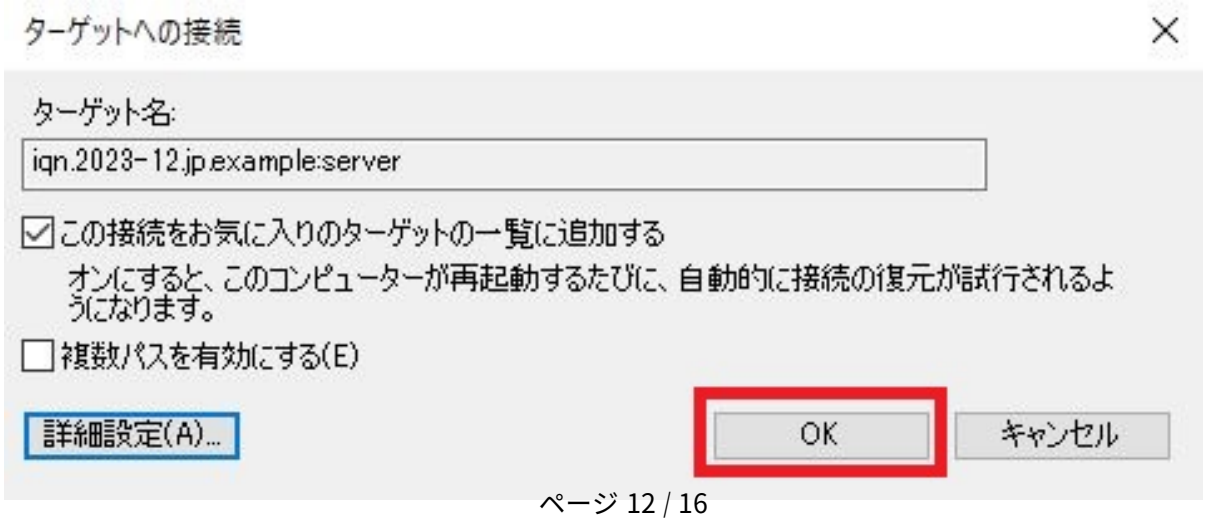


© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07

③ [CHAP ログインを有効にする]にレ点を入れ、
(2-3-5) で設定したID/PASS情報を入力する
名前： iscsiuser001
ターゲット シークレット： 123456789012
入力後、[OK]をクリック

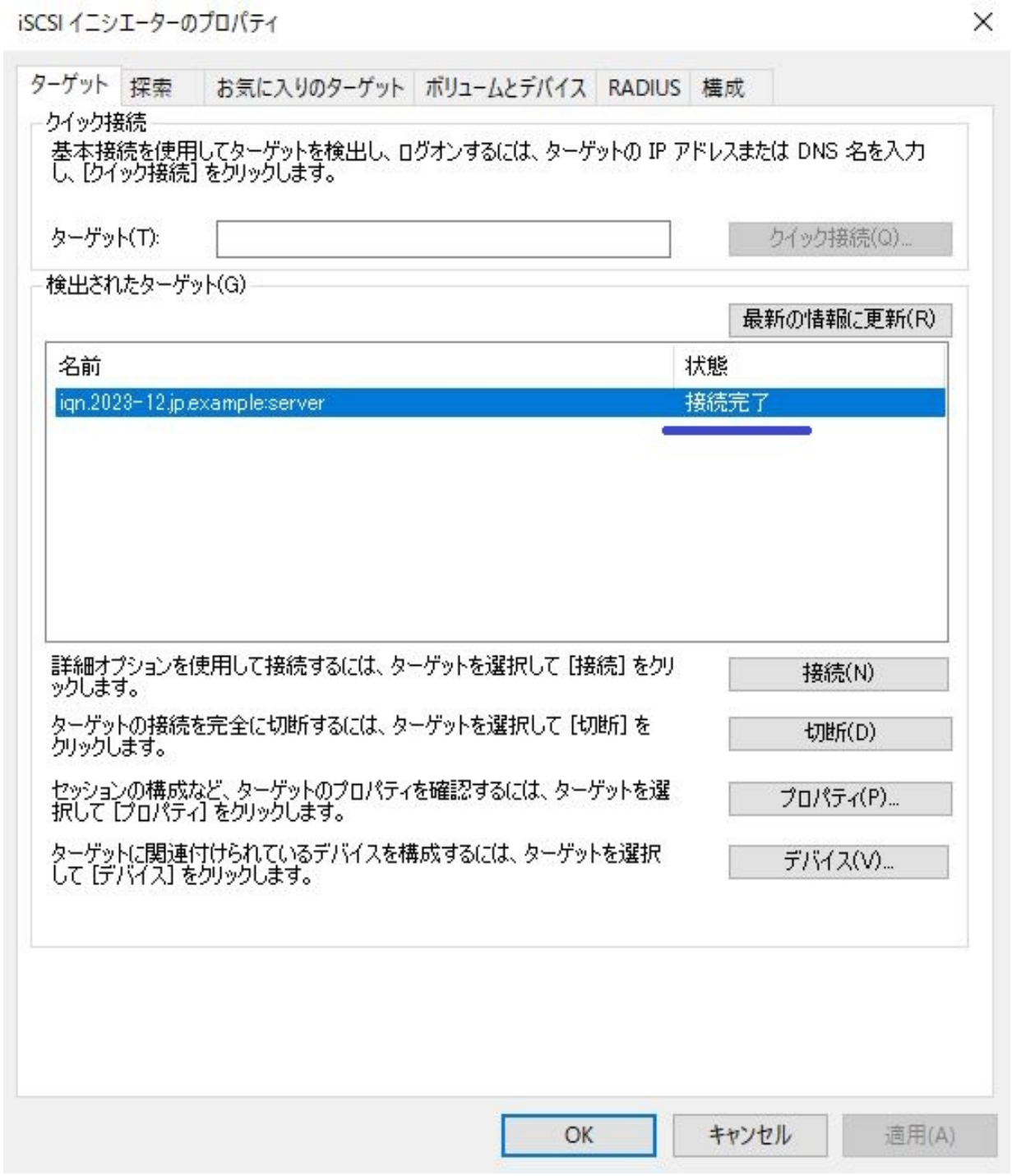


④ 1つ前の画面に戻るので、[OK]をクリックする



© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html

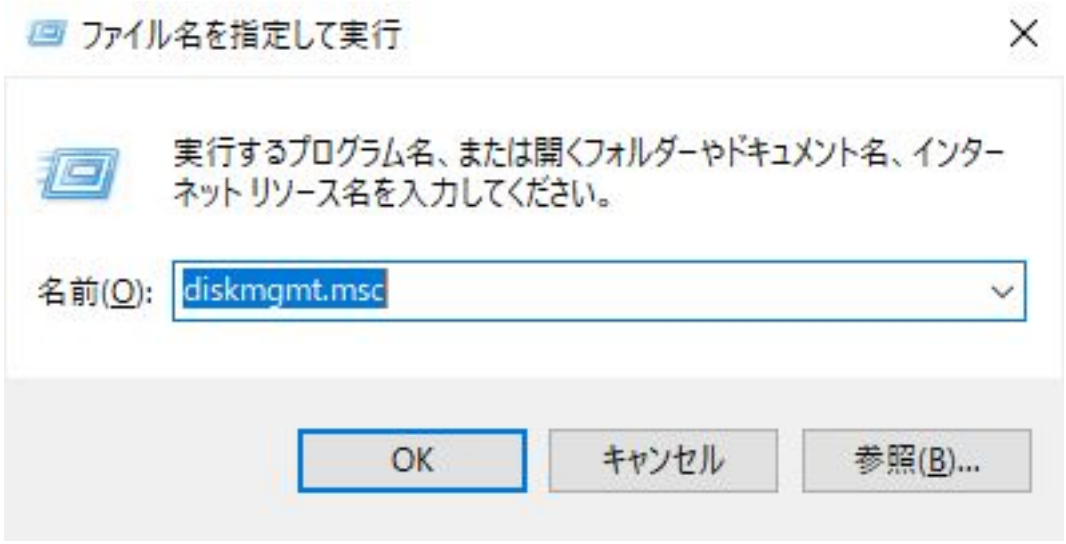
⑤ 状態が"接続完了"となれば設定完了
※ 設定に誤りがあると、エラーウインドウが表示される。
設定ミスの箇所により、エラーウインドウが出るまでの時間はマチマチである。
早い時は1秒未満、遅い時は3分ほど待たされ、エラーウインドウが表示された。

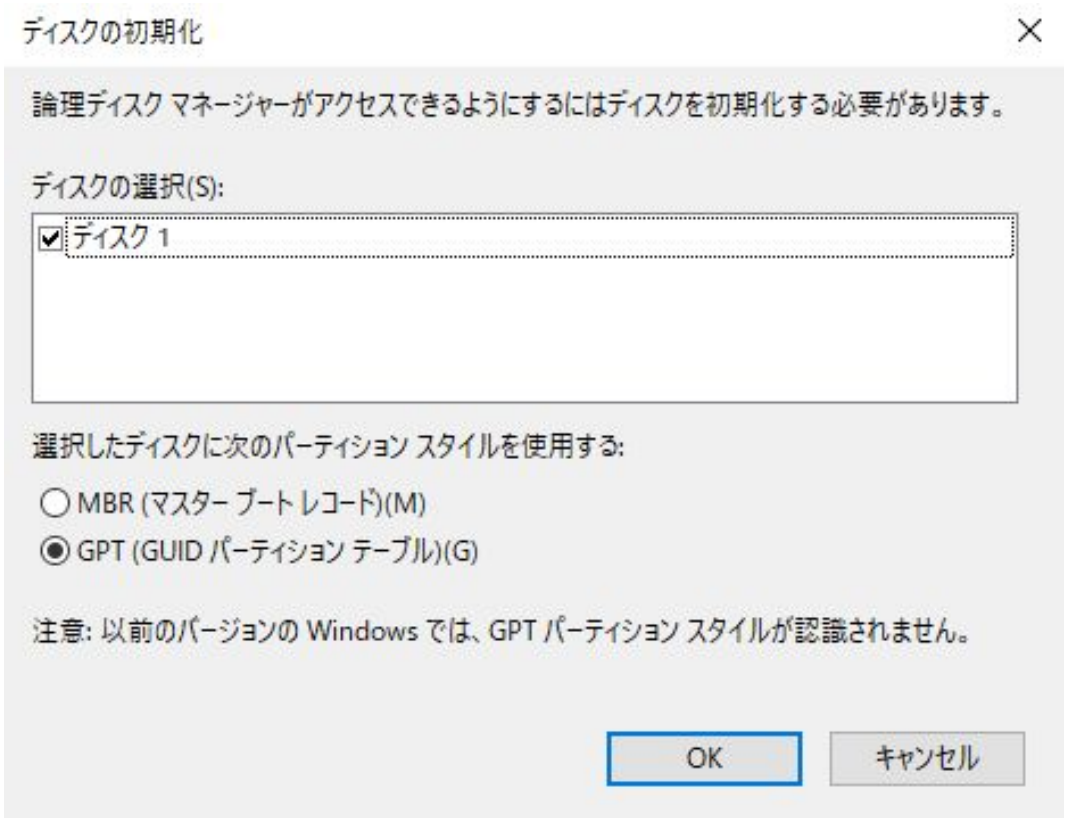


(3-6) ディスクの管理より領域を割り当て

ここまでくれば、HDD増設時と同じ手順となる
・ディスクの管理
{Windows}キー + R で、[ファイル名を指定して実行]を開く。
「diskmgmt.msc」と入力し、OKをクリック

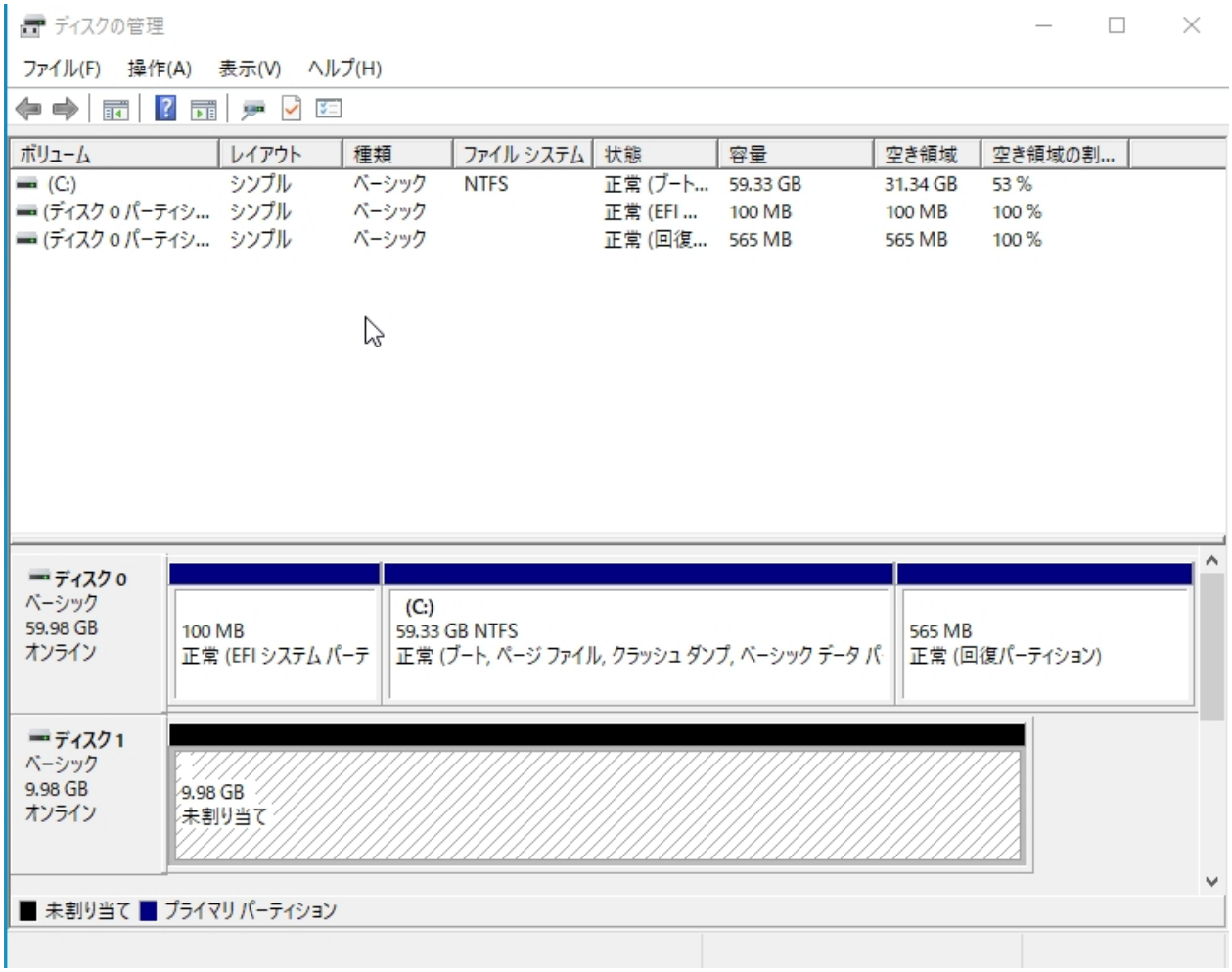
© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html

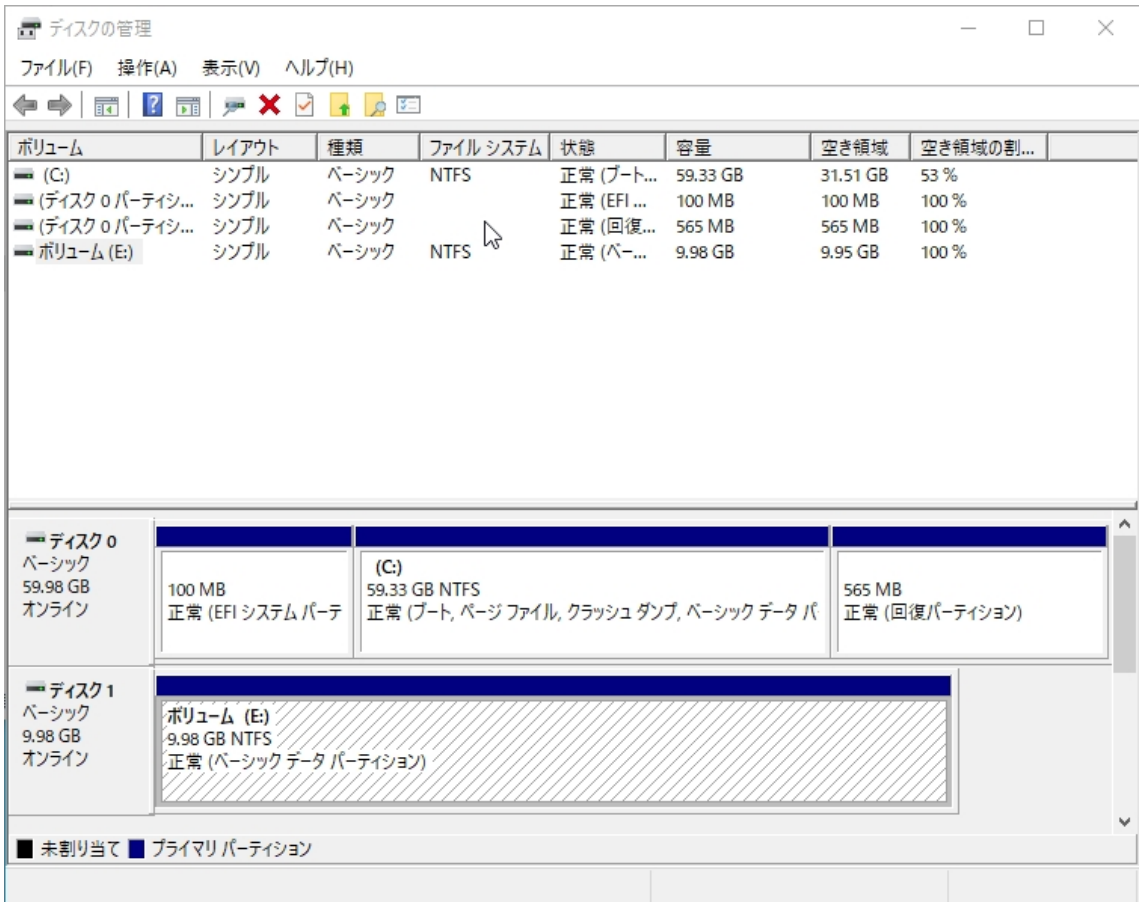




「新しいシンプル ボリューム」にて容量を割り当てれば完了

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07





© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:07

以上で設定は完了。Eドライブとして使用できるようになる。

添付ファイル::

一意的なソリューション ID: #1042
製作者: n/a
最終更新: 2023-12-08 00:20

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> ¦ 2026-11-22 23:07
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/43/ja/rockylinux8-と-windows10間でiscsi接続設定.html